

科目名	保育内容（音楽表現の指導Ⅱ）					単位	2.0
担当教員	水野 伸子						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	1428

●授業のテーマ

音楽表現を通して子どもの発達を促すことの出来る音楽的な資質能力を身につける。

●到達目標

- ・ 乳幼児の音楽的な発達のみちすじを理解し、発達に即した音楽活動を構成できる。
- ・ 音楽の基礎的理論（楽典）を実践的に理解できる。
- ・ コードを基にした伴奏を歌に付け、弾き歌いができる。

●学習内容(授業概要)

- ・ リズムを中心とした楽典の実践的な課題に取り組む。
- ・ 旋律の流れを活かした和声進行について理解し、自分なりの伴奏を作る。
- ・ 乳幼児の生活や言葉との関係から日本人の音楽的な発達のみちすじを理解し、望ましい保育者の援助のあり方を考える。
- ・ 乳幼児の発達に即した音楽活動を実践的に学ぶ。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 本授業のねらいを理解し、各自の音楽経験を振り返りながら課題を明確にする。

課題①リズム

2. コードネームとその機能について学ぶ。

課題②リズム・音名

3. 主要3和音を用いて旋律の流れを活かした和声進行を学ぶ。

課題③リズム・コード

4. 歌のよさを活かした伴奏のリズムを学ぶ。

課題④リズム・コード付け

5. 音への興味からわかる幼児の音楽的な発達のみちすじを理解する。

課題⑤リズム・コード付け課題の発表（複数の学生による発表）

6. 歌の構成を活かした伴奏のリズムの換え方について学ぶ。

課題⑥リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）

7. 言葉と音楽との関係からくる幼児の音楽的な発達を理解する。

課題⑦リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による表）

8. 代理和音の使い方を知り、醸し出される味わいの違いを感じる。

課題⑧リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）

9. 私たちの生活と音楽の関係を問い直し、音楽教育の意味を考える。

課題⑨リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）

10. 前奏の作り方を知る。

課題⑩リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）

11. サウンド・マップやサウンドスケープの表現活動を学ぶ。

課題⑪リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）

12. 3歳児の音楽表現を理解し、指導案の書き方を学ぶ。

課題⑫リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）

13. 4歳児の音楽表現を理解し、指導案の書き方を学ぶ。
課題⑬リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）
14. 5歳児の音楽表現を理解し、指導案の書き方を学ぶ。
課題⑭リズム・コード伴奏課題の発表（複数の学生による発表）
15. 幼児の音楽表現の指導案を書く。
自作の伴奏による弾き歌いの発表会

●準備学習・事後学習の内容

- ・ 毎授業ごとのリズム課題を練習する。
- ・ コード伴奏課題を音楽ノートに作り、弾き歌いの練習をする。
- ・ 授業後、学びをまとめておく。

●成績評価方法・基準

以下の内容について総合的に評価する

- ・ 毎授業ごとの学びの振り返り（30%）
- ・ 授業参加態度（20%）
- ・ 課題発表や提出物（50%）

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：子どものうた村 保育の木、著者名：小川宣子、妹尾美智子、麓 洋介 共編、出版社：ドレミ楽譜出版社、販売先：平野仁美学科長

《No.2.》書籍名：子どもの表現活動を導くコードネームによる伴奏法、著者名：小川宣子、木許隆、妹尾美智子、出版社：圭文社、販売先：平野仁美学科長

●参考文献／その他

参考プリント適宜配布

●履修上の注意

保育に必要な自らの音楽的資質を磨くには、伴奏能力の育成が最も効果をあげることから、日々の継続的なピアノ練習が不可欠である。